

泉北部レクリエーションゾーン整備事業 アウトドア会議・研修

11月8日（水）、整備後にこの地をビジネスの場としても利用しようと、市内事業所の協力のもと事業検証を行いました。これは昨年策定した基本計画書に掲げる5つの方針のひとつ「新たなライフスタイルへの対応」に合わせたものです。

参加者は、金融業、製陶業、製造業など5つの業種から各社2人ずつ合計10人。日中は絶好の晴天に恵まれ、少し汗ばむ暖かな一日。当日の活動を報告します。

<タイムスケジュール>

10:00 オリエンテーション
名刺交換
自己紹介（自己プレゼン）

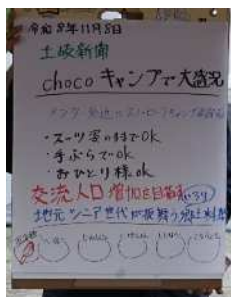
11:00 異業種同士のテント設営体験

12:00 ランチタイム

13:00 グループ形式のワークショップ
⇒対話ワークショップ
・暮らしの中のこだわり、大切にしていること、じつは大切にしたいと思っている事を話そう！
⇒アイデア創出ワークショップ
・最も理想的なチーム状態は？
・土岐市ならではの魅力と課題って何？
・3年後のレクリエーションゾーンを想像して新聞一面記事を作ろう！

16:30 焚火トーク

17:30 解散



(振り返り)

●テント設営体験では、異業種同士のチームで設営タイムを競い合いました。お互い最初の雰囲気とは違い、初対面でも声を掛け合っ​​て見事なチームワークを発揮。肩書を外したコミュニケーションでお互いの距離を近づけていました。

●ランチタイムでは普段の仕事の事やプライベートの事など会話を弾ませ、いつの間にかテーブルを超えてコミュニケーションの輪が広がっていました。

●対話ワークショップでは、もっとお互いを知ろうと、「衣・食・住・働・遊」について“自分の暮らしのこだわり”や“大切にしていること”などをさらけ出しました。グループ内のメンバーが質問で掘り下げ、お互いを認め合い、組織における対話の重要性を再認識しました。

●アイデア創出ワークショップや焚火トークでは、アウトドアで実施することによって“ワクワク”や“リラックス”という感情が高まっている効果なのでしょうか、参加者の創造性が発揮されアイデアがどんどん飛び出しました。この頃には、ひとつのチームとして完成しているかのようでした。

●参加者の皆さんからは、「テント設営は共同作業で自然と仲良くなれる」「キャンプ設備がある環境があったからこそ生まれる対話があった」「初対面でも対話が弾んで心地よく会話ができる」「自然の中では事務所で発想できないものを感じた」など好評の声をいただきました。

今日の活動内容と体験を振り返った意見を集約し、多くの皆さんに選ばれ、新たな価値が提供できるよう整備を進めていきます。協力してくださった皆さん、ありがとうございました。